

トレーラーの種類

大型トラックの中で特に超大型（高さ）超重量、長尺等通常のトラックで運べないものを運ぶ車をトレーラー（運転席と荷台が分かれている構造）と呼びます。トレーラーは引っ張る車の方がトラクター、駆動のない荷台部分をトレーラーと呼びます。駆動部と、荷台部を分けるのは、この方式のほうが大型でも回転半径が小さくなるためです。

トレーラー本体にもナンバーは付いていますが、自走できません、

① 平ボディ（高床トレーラー）

トレーラーの一般的な形状で形状の大小にかかわらず積めます。特に長尺、棒状の木材、金属等を積む

ものやや段付きタイプ、一般の荷を積むアオリ付もあります。

一般に 40t 前後の積載重量に耐えます（貨物用にバンキングもあり）



② 低床式セミトレーラー

一般の荷と違い高揚高の機械や幅広、超重量物搬送に対応した車種
特に自走で乗せるため、自動歩み板を搭載したタイプもあります。

重機、大型タンク、製缶物、コンクリート等

大きな荷物の運送には欠かせません。



③ ポールトレーラー

超長尺物（30m超）の運搬用に開発されたトレーラーです。

従来のように荷台に置くのではなく、トレーラーと、トラクターに跨らせる
様に乗せて運びます。前野トラクター部にはターンテーブルを装着します。



④ 伸縮式後輪舵切トレーラー

荷物によって長さ、高さ、幅が変わるためにこれに合わせていたら
トレーラーが多数必要になります。伸縮タイプは通常から長尺までを
形状を伸縮させて対応します。長尺の場合はトレーラーにも
ハンドリング出来、小半径が可能になります。最大車体全長 16.25m



⑤ 特殊タイプ

超重量物搬送（50 t 超）のため、特注のトレーラーがあります。

トレーラーは 4 軸で 16 輪すべて舵切できます。高速自動車道等
長すぎて走れない場所も多々ありますが、旋回半径は小さく曲がれます。

